

令和3年度使用中学校用教科用図書を選定

○ 選定理由概要

| 教科 | 発行番号 | 発行者略称 | 選定理由 |
|----|------|-------|---|
| 国語 | 2 | 東書 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「読むこと」で習得した「言葉の力」を、「書くこと」や「話すこと・聞くこと」の教材の中で活用できるように工夫している。 ○ 巻末に「言葉の力」一覧があり、各学年のまとめも書いてあるので見易い。 ○ 学習のポイントや身に付けたい力を、「言葉の力」にまとめてあり、生徒が自分でまとめを行えるようになっている。 ○ 基礎・基本の定着のために、「日本語探検」「文法の窓」「漢字道場」が設定されており、語彙を広げるための工夫が見られる。 |
| 書写 | 2 | 東書 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「書写活用ブック」を活用し、情報を効果的に発信できるような工夫が見られる。 ○ 毛筆の学習内容を同じ位置に配しており、大変学び易くなっている。 ○ 「Dマーク」のある單元では、家庭学習に取り組み易いよう、デジタルコンテンツを提供している。 ○ 基礎・基本の定着のために、「書写のかぎ」が設けられており、知識・技能の習得が確実に図られるようになっている。 |

| 教 科 | 発行番号 | 発行者略称 | 選 定 理 由 |
|-------------|------|-------|--|
| 社 会 (地理) | 2 | 東 書 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習内容の理解が図られるように、ひとつひとつの情報が分かり易く整理されている。 ○ 「まとめる」のコーナーが設定されており、自然災害に関する対策や課題に取り組む学習が可能である。 ○ 資料の読み取り方やまとめ方を系統的に学習できるように、「スキル・アップ」や「基礎・基本のまとめ」を設けるなどの工夫が見られる。 |
| 地 図 | 4 6 | 帝 国 | <ul style="list-style-type: none"> ○ サイズが大きく、大変見易い。生徒が調べる際、地名などを容易に参照することができる。 ○ 宮崎平野の野菜づくりの様子がイラストで分かり易く掲載され、港湾都市と外国との結びつきまで学びを深めることができる。 ○ 「地図活用」コーナーが設けられていることで、生徒が主体的に探究課題に取り組み、学びを深めることができる。 |

| 教科 | 発行番号 | 発行者略称 | 選 定 理 由 |
|-------------|------|-------|---|
| 社 会 (歴史) | 2 | 東 書 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 小村寿太郎、伊東マンショ、石井十次などの宮崎の偉人を紹介しており、生徒が興味をもって学習することができる。 ○ 「チェック&トライ」のコーナーで学習内容を振り返った後に、数ページ先の「探究のステップ」のページを示しており、効率的に発展的な学習を行うことができる。 ○ 学習内容を「ウェビング」などの思考ツールを活用してまとめたり、コラム「もっと歴史」で思考を深めたりすることができる。 |
| 社 会 (公民) | 2 | 東 書 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「18歳へのステップ」コーナーを設けており、主権者として社会に参画する態度を養うことができる。 ○ 各章の終わりで、「マトリックス」や「トゥールミン図式」などを活用し、自分の考えをまとめたり、表現したりするなどの工夫があり、「思考力・判断力・表現力等」を育成することができる。 ○ 今後重要なキーワードになるSDGsについて、ランキング形式でまとめてあり、生徒が興味をもって学習に取り組むことができるような工夫が見られる。 |

| 教 科 | 発行番号 | 発行者略称 | 選 定 理 由 |
|-----|------|-------|---|
| 数 学 | 6 1 | 啓林館 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の考えを他者に伝える場面や、他者と自分の考えを比較して考えを高めていく場面を設けているため、「思考力・判断力・表現力等」を育成することができる。 ○ 家庭や地域との連携が図られるように、「学びをいかそう」を設定しているため、学習したことを日常の生活に活用することができる。 ○ 「数学ライブラリー」など、生徒の数学に対する苦手意識をなくす工夫が見られる。 |
| 理 科 | 6 1 | 啓林館 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 単元扉や章扉にQRコードを掲載していることで、生徒が学習内容への興味・関心をもつことができる。 ○ 地域と関連した学習内容として、自然災害のしくみや影響を取り扱うことで、生徒が当事者意識や地域の自然環境に興味をもつことができる。 ○ 巻末冊子の「探Qシート」を活用することで、生徒がどのように探究を進めていけばよいか分かり、主体的な学習ができる。 |

| 教科 | 発行番号 | 発行者略称 | 選 定 理 由 |
|------------|------|-------|---|
| 音楽 (一般) | 17 | 教 出 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「まなびリンク」を活用すると、視聴や聴取、記録ができる。また、用語や記号などを整理して掲載することで、生徒が主体的に基礎・基本の定着を図ることができる。 ○ QRコードが掲載されており、範唱の音源や範奏の視聴ができる。 ○ 郷土の民謡として、「かりぼし切り歌」「ひえつき節」を取り上げており、生徒が親しみをもって学習に取り組むことができる。 |
| 音楽 (器楽) | 17 | 教 出 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「各部の名称」「姿勢とかまえ方」などのコーナーが大変見易く、生徒が主体的に知識・技能を身に付けることができる。 ○ 「さくらさくら」や「荒城の月」などの選曲により、生徒が自然や四季の美しさ、暮らしとのかかわりを感じ取りながら演奏の仕方を身に付けられる。 ○ 「話し合おう」では、生徒が考えたことや気付いたこと等をまとめ、協働的な活動を展開できる。 ○ 学校や生徒の実態に応じて、曲を段階的に取り扱えるように配置されているため、習得した知識・技能を活用することができる。 |

| 教 科 | 発行番号 | 発行者略称 | 選 定 理 由 |
|------|-------|-------|---|
| 美 術 | 1 1 6 | 日 文 | <ul style="list-style-type: none"> ○ アニメ作家や歌手を取り扱っており、生徒が学び易くなるように工夫されている。また、レイアウトのセンスもよい。 ○ 生徒がつくったものが地域とつながる事例を複数紹介することで、美術科で培われる力が身近な社会に関わっていることを理解することができる。 ○ ユニバーサルデザインを意識し、大変読み易いフォントを使用している。また、QRコードも掲載しているため、作品鑑賞の動画などをみることができる。 |
| 保健体育 | 2 2 4 | 学 研 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「まとめる・深める」のコンテンツが配置されていることで、生徒に地域のことを調べさせたり、話し合いをさせたりすることができる。 ○ 1 単位時間の内容を見開き 2 ページに収めており、利便性が高い。また、本文と資料のレイアウトを統一しているため、本文と資料の関連性が見えるよう工夫されている。 ○ ユニバーサルデザインを基本に、インクルーシブ教育の実現を目指した資料、写真が充実しており大変見やすい。 |

| 教 科 | 発行番号 | 発行者略称 | 選 定 理 由 |
|-----|------|-------|--|
| 技 術 | 2 | 東 書 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 情報モラルや知的財産に関する取り扱いが充実しており、これからの時代を生きる生徒たちにとって重要な学びを提供できる。 ○ 「地域の特産物を調べる」コーナーが設定されており、地域の気候や土壌に合わせて栽培することの大切さを学ぶことができる。 ○ 「技術の匠」では、技術に携わる人を紹介し、将来の職業や地域への愛着を育むための工夫が見られる。 |
| 家 庭 | 2 | 東 書 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 行事食や郷土料理を取り上げることで、家庭や地域と連携した学習を推進することができる。 ○ クレジットカードで買い物をする体験を扱っており、生徒の消費者意識を向上させることができる。 ○ 見方・考え方を働かせることができる場面に、キャラクターの「ミカタン」を登場させ、生徒の思考や意識を高めることができるよう工夫している。 |

| 教 科 | 発行番号 | 発行者略称 | 選 定 理 由 |
|-----|------|-------|--|
| 外国語 | 9 | 開隆堂 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 即興で話す活動を通して、表現力を高めることができるように、「Try」「Interact」「Our Project」を設けている。 ○ 読み物教材として東日本大震災時のトルコからの支援について扱っており、生徒が多様なものの見方や考え方を深めることができるようになっている。 ○ 「クイックQ&A」を活用することで、生徒が会話に楽しく取り組みながら、基礎・基本の定着を図ることができる。 |
| 道 徳 | 38 | 光 村 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 家庭や地域と連携するため、「先生方・保護者の方々へ」などで目標を明確に伝えたり、住んでいる地域と関連させて考えることができるコーナーを設けたりしている。 ○ 雑誌や漫画を多く掲載しているだけでなく、題材ごとにQRコードが掲載されており、生徒が学び易いように配慮している。 ○ いじめ問題について、日常生活で起こりがちな問題場面を取り上げることで、自分だけでなく他者も大切に生きて考えることを考えさせることができる。また、情報モラルとも関連させるなど、主体的に自分とのかかわりで考えることができるように配慮されている。 |